

患者さん中心の透析医療を追い求めて。

# ONE!

Kokuradaichi hospital

2021

VOL. 001

NOVEMBER



ONE!  
001

2021年11月15日

新病院開院



小倉第一病院 思い出の一丁目一番地

## 私のONE!



**院長 中村 秀敏**  
プロフィール  
1995年に医師としてのキャリアを始める。2004年に現在の理事長を務める小倉第一病院の副院長に就任。

いまは「ありのままの自分が一番いい」

小倉第一病院での思い出と言ったら、もちろん真鶴の旧病院ですよ。なんでもかかって、「家」でしたから。これは本当の意味での家ですよ。3歳から中学生になるくらいまで病院の5階に家族で住んでいたんです。「行ってきます」も「ただいま」も看護師さんや透析通院されていた患者さんに言っていました。小さい頃はみんなから「ヒデくん、ヒデくん」と呼ばれていて、その当時の患者さんからは今も「こんなに小さかったのにねえ、ヒデくん」と言われています(笑)。

自宅ということもあって父親が働く姿を近くで見えてきたわけですが、今でも大きな存在ですね。皆さんもご存知のようにカリスマ性のある経営者だったと思いますが、僕は容姿も性格も母親に似ていますよね(笑)。大きな存在だからこそ悩んだり押しつぶされそうになった時期もありましたが、いまは「ありのままの自分が一番いい」と思っています。

ぜひ、これからの新しい小倉第一病院にご期待ください。



医療法人真鶴会 小倉第一病院

〒803-0846 福岡県北九州市小倉北区下道津1丁目12-14  
TEL:093-582-7730 FAX:093-592-7689

【編集スタッフからひと言】

この度、小倉第一病院は新病院開院に伴い新たな広報誌を創刊いたします。このONE!の由来は小倉第一病院の「1」、患者さん一人ひとりを大切にする病院、創業者の「なんでも1番を目指しなさい」という言葉、そしてマスコットキャラクターであるハッピーの鳴き声も「ワン!」ということに因っています。

発行 / 小倉第一病院



新しい設備も充実した  
 落ち着いた空間で  
 安心して透析を。



# 2021年11月15日 新病院開院



新病院のコンセプトは「セカンドハウス」。より通院しやすく、より院内で過ごしやすく、より良い透析医療を受けられ、各種の合併症に自院ですできるだけ医療を提供し、通院困難や在宅困難などの問題の解決にも寄与できる病院へ

## 新

病院では透析ベッドを125床へ増床し、外来透析室・病棟透析室をそれぞれ設けています。外来透析室はテラスの緑が見えるような構造となっており、自宅に在るような環境を目指したとともに、緑の生命力が患者さんに伝わるように設計しています。病棟透析室は一般・要介護・隔離・観察室と区分けし、入院患者さんの状態に合わせて対応できるようになっています。また、これまでなかった地域包括ケア病床を8床予定し、退院までに時間を要する腎不全の各種合併症に対応が可能となりました。

手術室については4月から腎臓外科医の吉松先生が着任されたこともあり、血管内治療にも対応できるよう透視装置が整備されたハイブリットオペ室になっています。これまで以上にシヤント造設やPTA、人工血管手術にも対応できるようになっています。外来については、これまでの2ブースから5ブースに増やしました。これによってフットケア外来も拡充し、高齢者で足の悪い患者さんでも快適な外来診療を受診できるようになっています。

これまでご迷惑をおかけしていた駐車場問題も解決され、合計156台を収容できる駐車場を完備しました。駐車場2、3階から直接病院に入れるため、患者さんの送迎車も立体駐車場から乗降可能になっています。大きな目玉の1つとして、新病院5階には週3回通院の透析患者さんにご利用な病院併設型の高齢者住宅19戸を併設し、ご夫婦で入居可能なお部屋もご準備しています。

MESSAGE

**院長からのメッセージ**

これまで何十年も通ってくださった透析患者さんへの恩返しとして、またこれまで尽くしてくれた職員の人生にとって大きな糧となる病院になっていきたいと考えています。

理事長・院長 **中村 秀敏**



1.受付はホテルのような洗練された空間を演出。2.入院患者さん用の透析室も完備し感染対策を施す。3.外来透析室は大開口で植栽を楽しめる。透析チェアは半個室なプライベート空間。4.キッチンスタジオを完備し、管理栄養士による栄養・料理指導が可能に。5.各病室に洗面台、収納スペースを確保し入院環境を向上。6.新たなハイブリッドオペ室。シヤント造設やPTA、人工血管手術に対応。